

記入例

市民税・府民税特別徴収税額の納期の特例に関する承認申請書

<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 受付印 </div> <p style="text-align: center;">H28年 4 月○日 (あて先) 大阪狭山市長</p>	申 請 者 (特別徴収義務者)	住所又は所在地	大阪府大阪狭山市狭山 1—2 3 × ×—1				電話番号	072—366—00XX	
		氏名又は法人の名称及び代表者氏名	大阪狭山 株式会社 代表取締役 狭山 市郎				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 大阪狭山 株式会社 </div>	特別徴収義務者番号	△△△△△△△△
		個人番号又は法人番号	○○○○○○○○○○○○○○○○						
地方税法第 3 2 1 条の 5 の 2 の規定による特別徴収税額の納期の特例の承認を申請します。									
特例の適用を受けようとする税額		H 2 8 年 6 月以後の支払に係る給与又は退職手当等から徴収すべき市民税・府民税額							
申請の日前 6 箇月間の各月末の給与の支払を受けた人員及び各月の支払金額 (外書は臨時勤務者に係るもの)		H28年 3 月	5 人 (外 人)	1,600,000円 (外 円)	H27年 12月	5 人 (外 人)	1,600,000 円 (外 円)		
		H28年 2 月	5 人 (外 人)	1,600,000円 (外 円)	H27年 11月	5 人 (外 人)	1,600,000 円 (外 円)		
		H28年 1 月	5 人 (外 人)	1,600,000円 (外 円)	H27年 10月	5 人 (外 人)	1,600,000 円 (外 円)		
1 現に滞納している徴収金がある場合で、それがやむを得ない理由による場合には、その理由 2 申請日前 1 年以内に納期の特例の承認が取り消されたことがある場合はその年月日		※ 該当する場合に限り記入してください。							
給与の支払を受ける者のうち大阪狭山市内の居住者		申請日の属する年の 1 月 1 日現在	3 人	申請日現在	3 人				

※記入上の注意事項

- ア 申請者欄には、特別徴収義務者の氏名または法人の名称及び代表者氏名、印、法人番号、電話番号、特別徴収義務者番号を記入してください。
- イ 特例の適用を受けようとする税額の欄は、特例の適用開始を希望する年月を記入してください。(新年度分からであれば、「H 2 8 年 6 月以降」となります)
- ウ 申請の日前 6 箇月間の各月末の給与の支払を受けた人員及び各月の支払金額には、直近 6 か月の内容を記入してください。